



北海道方面

仁頃峠の道路改築

北見國常呂郡野付牛町地方一帯の凶作地居住者等はゆつくり正月氣分を味ふ餘裕とてなく、松の内から稼ぎ口を求めに職業紹介所に殺到し係員を面喰らはして居るが現在着手中の救濟工事は置戸に至る道路の砂利敷と仁頃峠より端野村境に至る道路改築一萬七千圓であるが、右の如く求職者多數なる爲め、以上の外三萬數千圓の觀兵道路改築、中の澤二線道路改築、開成道路改築等を近く起工の豫定である。

生振橋架設疑議

石狩川に圍まれて交通と言ふ問題外に置かれた觀ある石狩國石狩郡生振村では毎季の降雪期になると薄氷のため船は漕がれずまた渡渉もならぬ深さと氷上を歩くる程の厚さにも凍結せず交通は勿論のこと通信等も毎々吐絶する状態のため豫ねてより架橋の議が繰り返へされ居るも經費其の他の都合で實現に至らないのであるが、又々此の年末年始に當りて十餘日も交通吐絶し郵便物等も滞積して期限付きの郵便物等は之を經過する等非難多く、爲めに花畔郵便局長の如きも氣を焦らち、集配人と人夫は

幾度か薄氷を碎いて渡船を試みたが遂に成功せず他の方法を考究中であるが差し當たり假板橋を架設しやうと疑議して居る。

室蘭林間道路開通式

室蘭市清水町升一濱より小橋内町を経て測量山への林間道路改築のことは昨年十一月號に掲載されてゐるが、同記事を見た係員等は大に奮勵工事を急いだ結果此の程見事に改築されたので、室蘭宣傳協會が主催者となり芽出度開通祝賀式を舉行した、林道廳林務課長、須山營林区署長、宮會議所會頭、松尾協會長以下百餘名參列の下に測量山の式場で厳かな開通式を擧げ、次で會議所樓上で祝賀會を催し松尾協會長は主催團體より須山榮林署長に呈する感謝狀を朗讀するや、須山營林署長簡單に答辭を述べ、次で今田市會議長壇上に立ちて工事係員一同の勞を謝し愈々冥に移る、來賓總代として林道廳林務課長は道路に就ての所感を述べ、道路は我々に取り米の飯のやうに

必要であるから米の飯のやうに大切にしようと結論するや、満場大拍手を以て之を迎へた、それより美形連の餘興等あり、歡談時餘に亘り午後三時開通萬歳を三唱して散會した。

秋月橋改築竣工賀宴

二萬四千圓の工費で修築中であつた石狩國上川郡永山村と東鷹栖村とを接続する秋月橋は軍事上からも最も重要交通路線であるが曩に工事も竣成したので東鷹栖村役場樓上で賀宴を開いた、重なる參會者は中野上川支廳長代理、山岡土木事務所長、足立旭川市長代理、田中代議士、山口永農支場長、黒田市會副議長、永山、東鷹栖、東旭川村各町村長以下數十名で今井永山村助役より秋月橋は昭和六年の水害で永山側堤防が缺潰し次で同七年また橋梁の三分一を流失して交通上に支障を來したのであるが幸ひに改築成りて本日の喜びを見るに至つたことは永山村民の深く歡ぶ所で關係他町長

亦本日の祝宴に参加せられ謝に堪へない感今後も道路交通の問題には共に連絡を保ち改良に努力したいと述ぶるや接続各町村長も相協力して益々其改良達成を盟かゝる、工事施行の概要に就ては小松永山技手より説明があり歡談裡に祝杯を重ね最後に米野町村長の音頭で萬歳を三唱一同之に和して午後四時盛會裡に散會した。

東 北 方 面

嵯峨溪道路工事進捗

宮城縣桃生郡野蒜の青松白砂海邊の大廳森宮戸島、嵯峨溪めぐりの遊覽道路は宮戸、野蒜兩村の匡救事業として工事中のとこる既に大部分竣工し、一月中に貫通の見込であるが従來は鹽釜松島の往き返りに舟楫で此方面の景勝を探ぐるより外に方法がなかつたが、今度は此の道路により細浦、潜ヶ浦の大絶景を始め、月の浦、室の浦、黒濱、鯨津等まで自在に自動車で遊覽するこ

とが出来、所要時間等も經濟となり、とり／＼なる眺望の新紹介と、これまで隠れたる古蹟などの探索に新遊覽コースとして新たな場面が出来た次第で各地元では開通の日を待つて居る。

万石橋開通式の賑ひ

金華山産業道路の機能を發揚すべき牡鹿半島の咽喉部渡波町と對岸祝田とを繋ぐ万石橋はモダンな混凝土鐵橋の偉容を万石浦の括東部に出現した、此の宿望は八十年前からのものであつたが容易に達成しなかつたのを大正の末年から昭和にかけて内務省から土木局長や道路改良會の幹事諸氏が實地を視察され架橋の必要なるを認められて遂に今日あるを見るに至つたものである、そこで地元では盛大な開通祝賀式を舉行し八十歳以上の老翁老媪三十二名が先頭に立つて渡り初めをした、全國には多數の開通式があるけれども八十歳以上の翁媪が三十二名も打ち揃つて賑かに通り初めの先陣を

承つたことは蓋し空前絶後であらう、式は神職等の奉仕によりて嚴かに行はれ修祓、降昇神、玉串奠等順次型の如く、終つて伊藤宮城縣土木課長の知事式辭、庄司、菊地宮城縣會議長の祝辭、道路改良會長、湯澤前知事、都筑幹事祝電等を渡波町長披露朗讀して式壇を移し、八十八歳の都田龜治翁一門の三夫婦は高砂の袴姿にて歩を前むるや待ち設けたる兩岸萬餘の群衆は八十年に亘る溜飲を爆笑に代ふる萬歳の聲天地を震撼して日和山上舊城趾の石垣を鳴動せしめたといふエピソードが喧傳された、午後二時からは日の出館で關係者の祝宴を開き夜は各戸軒提灯を掲げて徹宵祝意を表した。

巨救土木事業進捗

宮城縣下に於ける時局巨救土木工事は伊藤土木課長の意氣で各所共大馬力をかけて竣工を急いで居るが既に完了したのは北郷、角田船岡線、縣道、東根、源内原槻木線等縣道二十數線に及び、地方振興町村補

助工事等も亦續々進捗し、縣直營、町村請負等の分も着々竣工に近づきつゝあるも大寒に入りて例年以上の急激なる寒氣襲來と最近稀に見る大降雪に祟られ、大地が凍結して作業難に陥り能率面白く無い處拾餘箇所に及んで居るが期日迄には完了する見込である。

北越方面

新潟驛前舗裝竣成

工費一萬五千圓で新潟驛前より萬代橋に至る道路舗裝工事は先に日本石油道路部新潟出張所で請負工事のところ舊來の面目を一新したので工事關係者、新潟驛長、同

警察署長、自動車關係者、附近居住町民有志等は新潟ホテルに參集して盛大な舗裝竣成祝賀會を催したが右工事費の内容は一萬二千圓を縣費に他は市費及び鐵道並に地元

高田驛前の道路舗裝

雪國の持つ一種陰鬱な杜の町、高田も昭和八年の春から自づと明るく朗らかな感じのする近代都市へと歩を進めつゝある、その第一の好印象は何と言つても道路の舗裝であつて、工費八千圓驛前の分は既に竣工し、又モダン高層建築も續々出現せんとし居る、驛前の飯塚ビルディングの如きも外部は既に完成し内部工事を急いで居るが階下は食堂と自動車のガレヂとし、二階は高田ステーションホテルに使用、三四階は寢臺と浴室の附屬するスマートなアパート式貸室として短期滞在旅客の利便に供する豫定になつて居る。

新潟の橋梁修理架換

八年度に於ける橋梁の修理費及び架換工費は七萬三千餘圓で、之を派遣所別に見れば新潟土木派遣所管内に於て架換橋梁西蒲原彌彦の鈴山橋七百圓以下西谷門橋、三方

橋、湯端橋、石動橋、木葉橋、新筒橋、白井橋等であつて、修繕で済むものは西蒲原の坂井橋二千八百圓以下中蒲原の鶴龜橋八百六十圓、新潟市の仲通橋西蒲原上村の渡部橋等計十橋を算し、村上土木派遺所に於て岩船神納の大川橋以下以下七橋、新發田土木派遺所に於て加治川橋以下五橋、新潟土木派遺所に於て大澤橋以下七橋、三條土木派遺所に於て大河津橋以下八橋、小千谷派遺所に於て花木橋以下九橋、六日町派遺所に於て百々世橋以下六橋、柏崎派遺所に於て海王橋以下七橋、安塚の黒染橋以下三橋高田の清瀧橋以下四橋、糸魚川の森下橋以下五橋、相川土木派遺所の國府橋以下八橋で之等が全部完成すれば新潟縣下の道路交通は舊來の面目を一新する譯である。

東海方面

國道改築の測量完成

地方通信

國道一號線愛知一宮市下町より同市外今伊勢町宮山に至る一里十町の區間を輻員十二間乃至十三間に擴張するため巖に愛知縣一ノ宮市土木課で、廣小路、下町線、公園線、省線驛通り宮山間と夫れ々分割して測量中であつたが一月十五日に至り之を完了したので近く縣市合同協議會を開き五ヶ年繼續事業として着手する準備を同市役所で計畫中である。

救農土木事業進捗

農村振興土木工事として知多地方に起工された道路事業は二十九路線で町村では八幡鬼崎が二線其他は一ヶ町村につき一路線となつて居るが孰れも早や七八分の竣工を見て居る、知多郡内の工費は七萬六千六百圓であるが元來農村振興の意味から農村に於ける農閑時の人手を成るべく多く使用する方針で、材料費等は之を成る丈け少なくして就勞人員の多數ならむことに留意し半田土木工區では就勞賃錢を一日八九十錢程

度として約三萬五千人(延人員)を救勞し得る計畫の許に着々工事の進捗を見て居る。

縣道境川橋開通式

愛知郡東郷村和合より筋生にける縣道舉母街道の改修工事は昭和五年起工されて以來約二箇年にして見事に竣工しました郡界の境川橋も見事に竣成したので去る二十七日盛大な祝賀式を催した、縣からは星野道路主事が臨席して遠藤知事の式辭を朗讀し愛知土木工區長、舉母土木工區長以下多數開係者參列、神職等の奉仕にて修祓、昇降神の儀獻饌、玉串奉奠等ありて一旦式を終り、次で通り初めの儀に入る、同地長壽の三家として加藤長太郎、近藤庄太郎、野々山角藏氏等の三家族が各三組都合二十七人威儀を正し肅々として進むや、近郷より押し出したる三河萬歳、獅子舞十餘組も之れに續いて賑やかに、祝ひ納めたのは他に見られぬ面白いものであつた。

近畿方面

自動車専用寶塚線

關西ではじめての自動車専用道路として阪國バス大島停留所から寶塚への美事なドライブウエー全長一〇、五キロ、幅員七メートルのアスファルト舗装道路が竣成した、阪國バスでは同社の寶塚線と名命し其の大島寶塚間を四區二十四錢、大阪寶塚間を三十二錢、神戸寶塚間を四十錢とし、又一般の自動車に對しては一輛につき片道五十錢トラックは一圓、大型車輛に對しては二圓の通行料金を取るのであるが、大阪及び神戸の兩起終點から寶塚へ平日は三十分毎に二十人乗のバスを發車すると、ムシ三十分乃至五十分で愉快に到達せしむる由である。

大ドライブウエー

我が國が世界に誇る十二大國立公園も來る三月までに内務農林兩省及び管轄縣廳で

指定地域の實測を了し、年度替りと共に指定の運びとなつて居るが、之れに先つて近畿地方唯一の決定地たる吉野及び熊野國立公園地帯では其の指定と同時に全國に魁けて國立公園地中の最近代的施設として七里御濱ドライブウエーを大阪營林局と三重縣の手で大改築に着手し名實共に日本一の遊覽景勝道路を實現する計畫中である、七里御濱は吉野熊野の東南端に方り三重縣木本町から音無川畔の御船村成川に至る林間七里の景觀を稱するもので包含するところ突兀たる奇勝ありゲロ味を發するありまた天下に知らるる鬼が城、獅子巖等の外、神代傳説の中心「花の窟」或は赤松黒松の樹海を崖上より瞰下する等の絶勝は紀南の新宮東方より阿田和附近の坦々數里の間を走り木本より鬼ヶ城に其の妙味の深奥なる蓋し日東の大ドライブウエーとして最優最秀のものとならう。

我等の道路誇あり

大阪市役所の土木部工務課では「埃りの大阪」なる惡名を、「誇りの大阪」と改むべく、道路清整運動を起し標語等も續々集聚して居る、今其の一例を見ると

- 明るい道路 都の誇り 我等の希望
 - 清楚の道路 都の光り 我等の努力
 - 自ら掌ひ 自ら清め 自ら修む
 - 身の爲め 世の爲 都の光り
 - 交通進みて 文明拓く 我等の責務
 - 清め 清め 互いに清めて 誇りあり
- 右の外「道路美整は市人の義務」「清き道路は富強國のシムボル也」「我等の道路を守護す可し」等の標語で埃りを誇りにの目標で整美大宣傳を進めて居る。

中國方面

道路整美運動發効

近時交通機具の進歩と發達と増加とによる交通事故尠ならず、爲めに甚しきは人畜の死傷より器物或は家屋等の破損等障害

を見るに至り職者の常に痛心する所であるが、其の原因の大部分は路面上の障害物放置が主因をなし、又道路兩端の測溝蓋上を店舗用として屢々事故を誘致せるもの多きを爲め、明石堰に於ては之を防止すると一方また市街淨化を兼ね衛生的ならしむるため、道路の整美運動を起し、各町衛生組合は勿論、自動車協會、市土木課、衛生係、交通事務署員が隔日に出勤した結果、道路の美化は勿論、交通事故約六割を減じて市街が何となく明るくなり好成績を挙げたので、今後毎月二回宛官民一致各町巡回整美運動を行ふことになつた。

大社と美保開闢改築

靜かなる山水秀麗の美保ノ關、松江、大社を連ぬる一帶の勝地を國立公園に指定せられん事を島根縣は希望したけれども、遂に之に洩れたので、島根縣民は大いに遺憾とし、過ぐる縣會では大社―松江―美保を結ぶドライブウエーを改築して路面も文明

式の工法によりて鋪裝し、實質的には國立公園以上の効果あらしめたことの要望あり福色同縣知事も之れに對しては善處邁進する旨を答へたので同地方は頓に喜色現はれ其の具體化の速かならん事を望むため用地用材等の無償提供を申出する者尠なからざる由である。

庄原の道路と橋梁

北備の遊覽地として四季を通じ股盛を稱さるゝ比婆郡庄原の上野は昨春以來庄原校書連の義憤的出資によりて、通路の擴張、植樹の入手等を行つた結果、更に股賑を加へ、從來渡舟なりし辨天島との交通も急激に増加したので橋梁と道路とを新設工事中のところ舊臘竣成して面目全く一新し新春早々から利便と新風景を加へ來り、橋梁名も辨天橋とし同地保勝會では櫻花爛漫の候を期し道路橋梁開通祝賀記念會を催す準備につき協議して居る。

旭橋と榮橋の開通式

豊田郡忠海町忠海驛前元東鹽住宅地約一萬坪と忠海町東部方面とは中央部に入海を以て隔離され非常な不便を感じつゝあつたが、之を見た都築重造氏は長サ五十餘米と四十餘米の二橋梁を架設中であつたが此程に至り美事に竣工したので、十一日午前十時開通式を舉行した、都築氏の意見として渡り初めは清淨無垢の者を望むとの事で同町の東西兩小學校尋常科一年生にして前夜入浴した健康兒童が選ばれて芽出度開通式を行ひ、兩小學校の全生徒には蜜柑を配布し參列者には神酒と手拭一本筈といふ簡單なものであつたけれども、當日は日曬の晴天と海陸の利便開通といふ絶大な意義あるため萬餘の人の出で頗る賑つた、此の橋梁が出来たので忠海驛と汽船の發着場も近接して非常な便利となり三吳線中に於ても此處程利便なところは他に無いであらうと稱するゝに至つた。

少年團の街路清掃

吳市獨立少年團は道路の美化と交通障害を防護するてふ健氣な精神美を發揮したと言ふので市民から稱賛され、從來路面を不法に占據使用して居た人々も之れに刺戟教化された形ちである、負ふた兒に教へられて渡ると言ふ言葉があるが此處では正しく的中して居る譯で同少年團は尙吳市中通一丁目二丁目から、堺川通りの貧弱な小路まで清掃したので市役所でも感服して居る。

九州方面

雲仙登山道路擴築

長崎縣土木課では雲仙國立公園計畫の一着として小濱雲仙線のうち、雲仙有明ホテル前から小池嶽に至る七百十五米突の道路は幅員狭小にして自動車の運行往々危険を感ずるため幅員を八間に擴築するに決した、之れが完成すれば夜間でも危難が避け

られる譯で其の竣成が期待されて居る。

直方飯塚線縣道竣成

工費十萬圓餘と四ヶ年の日子を要して竣工した鞍手郡小竹町嘉麻川慶川敷理立直方飯塚線縣道改築竣成祝賀式は去る十八日午前十一時から小竹町地内新道側廣場の天幕内で盛大に舉行された、此の日縣からは知事代理として坂本土木課長臨席し、工事關係者、縣會議員、地方有志等數百名參列盃を舉げ萬歳を三唱して散會した。

簗島の南大橋開通式

工費一萬四千圓で福岡市簗島日本足袋會社西方の那珂川に新設した南大橋は曩に竣工したので去る十七日橋畔で祝賀式を舉行した、同橋は橋長四十一間、幅員三間で橋床は鐵筋混凝土グレンフルト張りとしてあるから取り外せば他の橋に利用される様になつて居る、同處は上下半里の間に橋が無くて、頗る不便なりしも、本橋の架設に

依り多大の利便を受くるに至つた。

久留米の道路鋪裝

久留米市瀬ノ下町水天宮參拜道路兩側三尺宛都合幅員一間の擴築工事は昨年十一月工事に着手以來順調に進捗し今月中には竣工の豫定である、又警察署前に至る兩替町沿道住家の鋪裝工費一部寄附金の取纏めも同様一月中に完了し二月勿々鋪裝に着手する豫定である。

小倉の新大橋起工式

小倉市の大環狀線となるべき縣道木町戸畑線の改修に伴ひ途中板櫃川に架設する事となつて居た新大橋は縣直營事業として小倉土木管區の手に依り八日起工式を行ひ直に工事に着手した、工費總額三萬二千圓で橋長四十五米幅員二十五米の鐵筋混凝土で完成の曉は昨年架設した到津橋及板櫃橋の兩橋と共に到津に於けるモダンな橋梁が三橋出現する譯である。

小野屋別府線工事

縣道小野屋―別府線道路中、鳥井より石垣村東山字山の口までと、小野屋より阿南村柿ノ木までの路線は先年完成せるも柿ノ木、山ノ口間が未開通のため物資の搬出は勿論交通上不利不便であるところから大分縣では今回直營として施工中であるが、道路敷地は全部地元にて負擔し潰れ地代價一千六百圓は石垣村と阿南村とが負擔し來る三月二十日開通の豫定であるが、之れが貫通の上は小野屋別府間の交通に革命的利便を與へ自動車等の運行も見るべく該路線は將來別府より小野屋を経て長湯、久住、竹田、阿蘇に通ずる觀光路として重要なものである。

竹田の道路愛護デー

直入郡竹田町では道路の愛護思想普及のため竹田小學校七百餘名の生徒が道路の清

掃に當り、また路面及び側溝の障害物除去には青年團之れに當り隔月一回宛交通思想の喚起に努むることとし左記宣傳ビラの配布等に盡力し相當の効果を擧げて居る。

○我等の山の町 詩の町 繪の町を

綺麗にしませう

○軍神廣瀬中佐 画聖竹田の町を

綺麗にしませう

○山水秀美の 豊後 阿蘇

竹田の里を綺麗にしませう

○我等の道は 我等の手により

立派に整美致しませう

○斯くして我等の里を 明かるく

朗らかな町に致しませう

吉下橋長崎橋開通

豊後南海部郡中野直見間の道路は多年の間地方の懸案となり或時は政争の具に供されむとした程であるが、曩頃漸やく其の完成を見るに至つた、然るに途中の長崎橋及び吉下橋腐朽甚だしく架換の必要に迫り八

千圓の補助金及び基本財産收入金を加算し一萬三千餘圓を以て橋長四十五米、幅四米の長崎橋及び橋長七十米、幅四米の吉下橋を改築中であつたが此程竣工したので去る五日から芽出度開通した。當日は餅撒きや花角力、小學生の軍歌行進等あり流石に軍國の春を思はしめた。

道路青年團表彰さる

大野郡長谷川村は縣の南端に位し宮崎縣西臼杵郡岩戸村に接續する邊僻の山間にして、東西三里、南北七里、文明の交通機關全く見るを得ざりしも、大正九年春三代村長就任以來昭和七年に至る十三年間に於て前後七回縣道の認定、延長、供用開始と相次で盡力し、今日に於ては竹田、緒方、牧口等の各驛より自動車の交通を見るに至りまた縣直營工事として現に土岩、尾平間道路の大改築中であつたが三月二十日以前完成し尾平嶺山まで自動車交通を見るべく、従つて上田嶺山、藏内鋼山、馬杉嶺山の鑛業擴

張により交通量も増大し路面の維持が問題となる譯であるが、昭和六年六月以來三代村長の膽煎りに依る同村道路青年團が道路の保護修理に従事し成績優良なることが認められ、大分縣知事は賞として金一百圓を授與して之を表彰した。

尙時局匡救事業に對しては道路二線及び橋梁一箇所が地元請負工事となつたので同團體は之に従事し宮崎縣岩戸村とも相謀り隣保交通の改良を計畫中である。

大分の道路協議會

大分縣では時局匡救土木工事施工上に關し打合を行ふため縣公會堂に各土木派出所長を集合し會議を開いた、協議及打合事項は左の通り

△協議事項

一、農村振興町村土木工事の設計變更に關する件

一、農村振興町村土木工事に付當該町村土木委員の手當に關する件

△指示事項

- 一、昭和七年度の災害復舊工事に關する件
- 一、昭和七年度所屬工事の施行に關する件
- 一、昭和七年度の道路修繕費に關する件
- 一、縣直營工事の竣功報告に關する件

△打合事項

- 一、町村工事の指導監督に關する件
- 一、直營工事の材料購入見積書及請求書の記入事項に關する件
- 一、町村工事の施行方法に關する件
- 一、道路工夫の配置に關する件

△注意事項

- 一、時局匡救事業等の事務取扱方に關する件
- 一、工事執行に關する件
- 一、時局匡救農村振興及産業振興土木事業の功程報告に關する件
- 一、農村振興町村土木工事の設計監督援助に關する件
- 一、時局匡救町村工事の補助内渡願及竣功届に對する證明の件

一、工事材料の借入使用貸金支拂方法に關する件

一、縣直營工事の就勞狀況に關する件

匡救事業が納税に好響

大分縣の小坂庶務課長は滞納係屬及書記二十餘名をして調査整理を督勵して居るが一月は國稅では田租第一期、宅地租第二期、縣市町村稅では地租附加稅第二期の納入期で所得稅同附加稅等もあるが、歳末に於ける縣下一般金融狀況は昨年比して遙かに改善されたことが種々の事象上に反映して居る、同縣庶務課及會計課の調べに依るに、時局匡救道路事業で兎も角下層一般の懐る具合が良くなつた證據には昨年同期縣稅納入は五十萬圓の調定額に對し漸く四十萬圓であつたのが、今期は早や四十餘萬圓に達して居るから期日までには調定額に餘程近き數字を現すものと喜ばれて居る。